

推薦の言葉

日本中で実に多くのメディカルカンファレンス（メディコン）が行われているが、これらのメディコンには必ずスターとなる医師がいる。診断の困難な例に対して、可能性のある質的診断をあげ、さらには「私は〇〇だと思う」と述べられる。最後に手術の結果や病理組織検査の結果から、そのスター医師の診断が当たっていると、会場からは「ホー」とため息が漏れる。スター医師は100%とはいかないまでも非常に高率に正しい診断名を言い当てるとともに、遠隔転移なども必ずチェックして見落としが少なく、きつと多くの若い医師達も、そうした先生を間近に見て、自分も将来はあの先生のようになりたいと思うことだろう。

本書『見逃し、誤りを防ぐ！ 肝・胆・膵癌画像診断アトラス』では、基礎編として肝胆膵癌を疑う場合の診断アルゴリズムに始まり、各画像診断法の原理から検査の進め方、読影の実際、その検査や手技の禁忌とリスクまで事細かに書かれている。

また応用編では、各種の癌や腫瘍性病変について鑑別診断、進展度診断が詳細に書かれており、さらに手術適応の基準も明確に書かれ、消化器内科医のみならず、消化器外科医にとっても大変役立つ本である。

私の専門は肝切除と肝移植であるが、診断は手術法に直接関連するので大いに興味をもっており、その方面では「大変うるさい人」と言われていると思う。肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝癌は日常的によく出会う腫瘍であるが、その他の腫瘍は比較的稀で、一人の医師が出会う症例数には限りがある。比較的稀な腫瘍では、鑑別点をしっかり頭に入れることがまず必須である。次に自分の経験した症例の切除標本を観て触ってみることも大変大切で、肉眼病理所見がミクロの病理診断を覆すこともある。画像診断を行ううえで肉眼的病理学は欠くことができない。診断に携わる者は切除標本を手術室や病理室で観察しなければならない。

本書のキモは何と言っても見逃しや誤りを防ぐ点にあり、この目的のために多くの優れた執筆者が検査中や撮像の注意点、さらに読影のポイントを詳細に述べている。

若い医師は、本書を通読して概要を覚えるとともに、臨床経験を重ねるなかでくり返し本書を読み返し、すべてを頭の中に入れることができれば、前述のメディコンにおける「スター」になれることは確実である。

本書を企画された工藤正俊先生は、超音波を中心とした画像診断・治療の大家であり、山雄健次先生は内視鏡を用いた診断・治療の達人である。工藤・山雄両先生による本書は、多くの消化器内科医や肝胆膵外科医の診断と治療の指針として役に立つものと確信している。

2010年8月

日本赤十字社医療センター院長、東京大学名誉教授
幕内雅敏

推薦の言葉

歴史的に医学の進歩は疾患概念の発見・改革，機器の開発，診断治療法の進歩などと不可分の関係をもつ。これらを踏まえて著しい臨床的効果をあげなければならない。

肝胆膵癌では疾患の特徴をよく理解し，検査法を取捨選択し，治療に役立つように解剖学的・病理学的な所見を限界まで描出する高度なレベルが要求される。現時点では肝胆膵癌の診断に血清学的な検査は決定的な役割は果たしておらず，画像診断が必要になる。画像診断を行うにあたっては，1例1例を大切に一期一会の心がけが要求される。侵襲的な検査法は慎重に施行し，合併症の防止に努めなければならない。また，消化管と異なって生検組織の採取は必ずしも容易ではないので，画像と組織の対比をくり返し行って，画像所見から組織所見を読影できるように努力する必要がある。非典型例や稀な症例は考えられる疾患を列挙して，成書や症例報告を見て正しい診断を導くことに専念する。

本書では診断のアルゴリズム，画像診断法，画像診断所見と鑑別診断が詳しく述べられている。各項の著者はその道を極めた専門家の先生方である。

診断のアルゴリズムは各施設によって異なるが，基本的には本書に記載されている流れは妥当なものと考えられる。進行した病変ではできる限り無駄な検査を省略して非侵襲的にstageを決定し，治療を早期に開始することが必要であろう。反対に治癒切除可能と思われる病変には進展度診断を詳しく行い，手術に役立つ情報を提供する。

画像診断には自ら行うUS，EUS，ERCP，血管造影などと，機器に依存するCT，MRI，FDG-PETがある。機器に依存する方法でも可能ならば疾患に通暁した医師が立ち会って，よい画像が得られるように放射線科と協力すべきである。

画像所見と鑑別診断の項では疾患の基本概念，画像所見，画像診断のコツ，組織像，見逃しやすい/誤りやすいポイントがコンパクトにまとめられ，臨床の実際にきわめて有用である。

本書は肝胆膵癌の画像診断に携わる初心者から専門家まで必ずお役に立つと考え，推薦する次第である。

2010年8月

順天堂大学名誉教授，鶴川さくら病院名誉院長
有山 襄